

広尾防災公園 ~安全と安心のオープンスペース~

①非常用発電設備

災害などの停電時に、公園内設備の電力を供給。災害時に最低限必要となる照明や放送、ポンプなどの電力を確保します。

発電機は、72kwの能力

⑧休憩広場

旧江戸川沿いの遊歩道を散歩する際に立ち寄り休憩したり、水辺の眺望を楽しむ広場です。県により緊急用船着場が整備される予定です。

旧江戸川には緊急用船着場の計画も

②備蓄倉庫

避難生活用品や資機材等を備蓄

400w×2灯の自家発電式照明灯も装備

⑨管理棟

公園の管理事務所と防災用の備蓄倉庫の複合施設。休憩スペースや公園管理ボランティアの活動スペースがあります。展望デッキからの公園の眺望も楽しめます。

自由に人語をきく備から眺望も楽しめる管理棟

③非常用トイレ

災害時にマンホールを開けて専用テントを張ることでトイレ(和洋68基)となります。下水道本管が破断しても、概ね3日間が対応可能です。

非常用トイレは公園西側に設置

⑩蓮田

行徳の原風景ともいえる蓮田。夏には白く美しい花が訪れる人を迎えます。

かつて行徳を栽培していた蓮田を再現

①健康の広場

子どもからお年寄りまで、誰もが安全に軽スポーツが楽しめる芝生広場です

利用イメージ

④雨水貯留槽(園内3カ所)

約4,600m³を貯留し、周辺地域への雨水流出を抑制します。

自由広場

⑤ヘリポート

健康の広場は、ヘリポートとしても利用します。災害時に限らず、必要な場合はドクターヘリの離発着場となります。

⑩耐震性飲料用貯水槽

災害時に水道本管が破裂した際、約13,000人の3日間分の飲料水120m³を確保します

直径2.6m、長さ23mの貯水槽を地下に埋設

③いこいの広場

木々に囲まれた芝生の広場です。デイキャンプコーナーではバーベキュー(要事前申し込み)も楽しめます。万一の時は一時避難の場として機能します。

ベンチとテーブルは、バーベキューの際も利用できます

水切り付きの水洗場

⑦つどいの広場

イベントにはもってこいの広場です。

管理棟隣りに位置し、多様な用途に利用可能

⑥水に親しむ広場

夏季は水が流れる、段差の少ない親水広場。水辺に恵まれた行徳を象徴しています。

夏にはミニ噴水から流れる水が水深50cmの川に

④花の広場

約500本のバラや藤をはじめとする、四季折々の花が楽しめます。市民参加型の花壇もあります。

バラが成長すると、花のアーチが完成 藤棚に花房がつく日が楽しみ

②ちびっこ広場

幼児用の遊具や健康遊具があります。

小さな子どもの安全に配慮した遊具

⑥ステージパーゴラ

災害時には専用シートを張れば大型テントになり、荷さばき場などとして使用できます。

消防施設

南消防署広尾出張所

- 普通消防ポンプ自動車 1台
- 高規格救急車 1台 (配置人員は24名)

☎333-2111 消防局企画管理課

出張所の開設により地域の消防力も充実

⑥カマド型ベンチ&スツール

災害時に座面部を外すとカマドとして使用できます。炊き出しなどに活用します。

1口用10基、2口用2基を設置

⑤遊びの広場

近隣アンケートで選んだ複合遊具を設置し、子どもたちが活発に遊べる広場です。

鉄棒や滑り台など、友だちと楽しく遊べます

その他

公園内はバリアフリー化に配慮するほか、太陽光・風力・雨水などの自然エネルギーを有効利用するようさまざまな工夫を凝らしました。また、トイレは車イスや乳幼児を連れた利用にも対応。おむつ替え台も備えています。

管理棟屋上には、大型のソーラーパネルを設置

公園への入り口は、車椅子にも配慮したスロープ

時計塔は、風力発電とソーラー発電も兼ねています

公園概要

地図内の①～⑩は公園施設
A～Hは防災施設

- 所在地：広尾2-3-2
- 面積：36,819.41m²
- 開園：平成22年4月1日
- 公園種別：地区公園
- 避難圏域：概ね1km圏内の約13,000人
- 交通：東京メトロ東西線南行徳駅から徒歩20分／妙典駅または現代産業科学館発行徳駅・南行徳駅経由「東京ベイ医療センター行き」コミュニティバスで広尾防災公園下車

[問い合わせ] ☎359-1287 行徳支所地域整備課

利用案内

- 自転車禁止 (幼児用OK)
- 犬のフンは持ち帰ろう (持ち帰る責任をもちましょう)
- ペットの利用は監視のみ可 (吠え声や吠え声は禁止)
- ポイ捨て禁止 (ゴミは各自持ち帰りましょう)
- 木花を大切に
- 破壊された場所での遊ばないこと
- スケボー禁止
- ロケット花火禁止
- 投げたもの
- ゴルフ等の危険行為禁止
- 夜は静かに
- その他の迷惑行為禁止